

読み聞かせボランティア講習会 “おはなしを子供たちに！”

～四季の森小学校読み聞かせボランティアのみなさんへ～

平成23年6月23日（木）午前11時～

旭図書館会議室

図書館司書 星野いずみ

1 子どもと一緒に絵本をたのしみましょう！

読み聞かせとは

- ・本の世界への橋渡し
- ・ぬくもりのある生の声で届けるもの
- ・楽しみを共有できる

おとなが子どもに本を読んでやるとき、大人の声に乗って子どもの心に運ばれていくのは、物語プラスアルファだけではありません。読み聞かせという行為それ自体の中に、子どもは大人の愛情を感じ取っています。読み聞かせは、字の読めない子どものために、活字を声に変えてやるだけではないのです。子どもに本を読んでやるとき、その声を通して、物語といっしょに、さまざまな良いものが、子どもの心に流れ込みます。

松岡享子 著 『えほんのせかい こどものせかい』より

2 絵本を選ぶポイント

- 1) 絵に語る力がある *文章を読む前に絵だけを見る
- 2) 絵と文が一体となり、連続性がある
- 3) 簡潔な文章 文章量
- 4) 主人公とともに体験できるストーリー
- 5) 長く読み継がれ、子どもに愛されてきた古典 *奥付を参考に

『おさるのジョージ』1941年 『ぐりとぐら』1963年

- *気をつけたいこと**
- ・テーマ先行、大人の視点
 - ・遠目の利かない本

『アンガスとあひる』マージョリー・フラック作絵 瀬田貞二訳 福音館書店

『くんちゃんのはじめてのがっこう』ドロシー・マリノ作 まさきりこ訳
ペンギン社

- 昔話の絵本 昔話の絵と文が、再話の世界を壊していないか？

『三びきのやぎのらがらどん』マ・ヤ・ブ・ラウ作絵 瀬田貞二訳 福音館書店

- 知識の絵本 科学としての正確さと同時に、絵本としての楽しさはあるか？

3 下準備

- 1) ページの開き癖をつける。
- 2) 下読みを10回
- 3) 時間を測る。

4 大勢の前で読む時のポイント

『読み聞かせわくわくハンドブック』 / 『えほんのせかいこどものせかい』

- 1) ゆっくり心をこめて、素直に読む。
- 2) 本の持ち方とめくり方
 - ・横書きは右手で持ち、縦書きは左手で。
 - ・題名→見返し→本文→裏見返し→裏表紙→表紙
 - ・手や腕で画面を隠さない。
 - ・ページの端に手をかけてめくる準備
 - ・一呼吸おいてページをめくる。

5 本番

- 1) 設営（机と椅子は後ろに下げてもらい、スペースを作る）
- 2) 立つ位置（本が中心）
- 3) 始まりの挨拶は簡単に
- 4) 読み終わったら、感想は求めない。読後感が大切。
- 5) 記録をとる。（書名・著者・出版社・所要時間・感想・学年とクラス・日時等）

6 学校での読み聞かせで注意したいこと n

- ・ 学校で見聞きしたことを、外で口外しないこと
- ・ 遅刻、無断欠席は厳禁。学校への事前連絡を忘れずに。子どもは待っている！

7 どうぞ、図書館をご利用ください！

展示「読み聞かせに向く絵本」 児童書研究コーナー

8 参考に

『えほんのせかい こどものせかい』松岡享子 著 日本エディタースクール

『絵本よるこび』松居直 著 日本放送出版協会

『心に緑の種をまく』渡辺茂男 著 新潮社

『読み聞かせわくわくハンドブック』代田知子 著 一声社

『ぼくの絵本 わたしの絵本』石川道子、平田美恵子、湯沢朱美 編著 プランニング遊

『本の世界をひろげようー読み聞かせボランティアハンドブック』